

Lightseeing Kyoto South

Lightseeing Kyoto South

2025.10.4^土–11.16^日

13:00–18:00 | 金土日祝のみ

参加アーティスト:

木村歩、工藤玲、小松千倫、タニガワユメ、
TOUMAN、外山リョウスケ、山本愛子 ほか

参加プロジェクト:

ichimai kyoto

会場:

hatoba cafe、崇仁市営住宅9棟 空き店舗、
ギャラリー京都七条

入場無料

主催: 京都市 | 技術協賛: 株式会社写真化学

協賛: チームラボ バイオヴォルテクス 京都 / 大阪ガス都市開発株式会社



京都市
CITY OF KYOTO

Lightseeing Kyoto South —地域にある光と、新たな光へのまなざし—

2025.10.4^土—11.16^日

13:00–18:00 | 金土日祝のみ

「Lightseeing Kyoto South」は、京都市南部の京都駅東部・東南部エリアの複数の拠点を舞台に、若手アーティストたちの作品を通じて、地域の風景や記憶、暮らしの中にある光を見つめるイベントです。

イベント名の「Lightseeing (光をみる)」は、「日常に宿る輝きや、土地に根ざした場所や表現に目を向けること」、「過去と現在、土地と人、表現と記憶を見つめ直し、それぞれの場に新しいまなざしを重ねていく営み」を表現しています。

当イベントは、展覧会の開催だけでなく、地域に暮らす人々とアーティストとの対話や協働を取り入れ、人と人の間だけでなく、人と環境の間にも新たな関係性を育み、アートがまちの風景に自然と溶け込むことを目指しています。

さらに、周辺の文化施設やギャラリーで開催される展覧会やイベントと連携することで、訪れる人々がエリア全体を緩やかに巡りながら、それぞれの場所に息づく光を見出す体験を共有できる仕組みを構築します。

当イベントを通じて、地域に潜在する価値を照らし、日々の生活の中にある文化的な可能性をひらく。まちの輪郭を緩やかに照らし出し、光の交差点のようなひとときをつくり出す。こうしてアートを通じて地域との新しい関わり方を編み出していきます。

Curator | キュレーター

京都駅東部・東南部エリアに、いま変化の光が差し込んでいます。グローバルツーリズムの拡大や京都市立芸術大学の移転など、京都の玄関口に位置するこのエリアでは、新しいまちの風景がつくられつつあります。この変化に向き合い、未来に向けて考えを深めていくためには、このエリアを訪れ、歩いてみるのが大切だと思っています。「こんなお店がある」「こんな人がいた」と発見したり、「ここにこれから何ができるのだろう」「以前はどんな景色が広がっていたのだろう」と想いを巡らせながら、この地に在る、様々な時間のレイヤーに出会うことができます。 「Lightseeing Kyoto South」は、京都にゆかりのある若手アーティストと共に、変化の渦中にあるこのエリアに乱反射する「光」を見つけ出す手がかりになります。その「光」を手がかりに、私たちはこの土地の記憶と未来を、そっと見つめ直すことができるのかもしれません。

——大倉 佑亮

今年から始まる「Lightseeing Kyoto South」は、この土地とアートの新しい関わり方を探る試みです。私たちは、本企画で主に4つの会場のキュレーションを担当し、「光」というテーマを軸に、アーティストと共に地域と向き合う場をつくります。hatoba cafeのギャラリースペースでは、「光」を多義的にとらえる作品を通して、土地や記憶、身体や環境にまつわる輝きの在りかを探る展覧会を開催します。加えて、崇仁市営住宅9棟の空き店舗3軒では、衣食住を軸に、日常とアートが交差する空間を構成する予定です。それは作品を「見せる」場というより、地域に根ざした営みをひらき、共に過ごす時間を共有するような場づくりに近いかもしれません。京都駅東部・東南部エリアには、長く続く文化施設と、近年生まれた新たなスペースが点在し、静かに文化の層を重ねています。各所で開かれる企画展やイベントとも連携し、マップを介して人と場所をつなぐことで、光のようにひろがる関係性を育てていきたいと考えています。このエリアを訪れた誰かが、また別の誰かにとっての「光」となる。そんな循環が生まれることを期待しています。

——渡邊 賢太郎



Photo by Mikoto Yamagami



Photo by Satoko Noguchi

▼ hatoba cafe | 京都市南区東九条西岩本町10 オーシャンブリットビル1階

hatoba cafeに併設されたギャラリー空間では、「光」をテーマに展覧会を開催します。宇宙誕生のビッグバンにまでさかのぼる壮大な光から、日常に差し込むやわらかな光、植物が受けとめる営みの光、人間が生み出した人工の灯りまで——。現代を生きる私たちを取り巻く多様な光のかたちを、多角的かつエコロジカルな視点から捉え直すことを試みます。

小松千倫 | Kazumichi Komatsu

1992年高知県生まれ、京都市在住。音楽家、美術家、DJとして活動。音や光といった振動／波を主要な素材として、情報の伝達や保存のプロセスを探索。そのプロセスの中で生じる物質的・心理的な距離を、懐古や恐怖といった体験として位置づける作品制作と研究を行っている。



photo by Shoji Funakawa

外山リョウスケ | Ryoosuke Toyama

1980年東京生まれ、京都市在住。2008年に工芸職人の肖像シリーズ『種』を撮影して以降、古典技法を現代に蘇らせ、光と時間を主題とする作品を制作。独自の技法「Tempusgraph」を用いて「時間の姿」を可視化し、人と自然の営みを写真に焼き付けている。写真史を遡り、忘れられた技法を再考することで、新たな表現を模索している。



山本愛子 | Aiko Yamamoto

1991年神奈川県生まれ、京都市在住。東京藝術大学大学院先端芸術表現科修了後、ポーラ美術振興財団在外研修員として中国にて研修。土地に根ざした自然の記憶や人の営みをテーマに、フィールドリサーチを行いながら、草木染などの染色技術を用いて制作を行っている。



Photo by Tatsuhiko Nakagawa

▼ 崇仁市営住宅9棟 | 京都市下京区屋形町7-1

3つの店舗跡地を活用し、生活に新たな光を灯す場をつくります。若手アーティストによる陶芸や照明作品の展示・販売を中心に、喫茶スペースで地域や来場者と交流を育む空間に。また、インフォメーションセンターとして、地域のおすすめスポットや、これまでのアートプロジェクトを紹介する図書コーナーも設けます。

107号室= 工藤玲

106号室= 木村歩、タニガワユメ、TOUMAN

105号室= ichimai kyoto

工藤玲 | Ray Kudo

高知県出身、京都市在住。光を余白や沈黙として捉え、その緊張や揺らぎを可視化する作品を制作。静けさに潜む問いを、光による表現を通じて探求している。



木村歩 | Ayumi Kimura

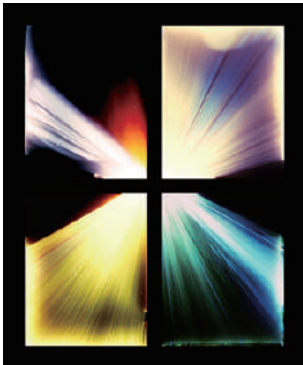
1997年兵庫県神戸市生まれ。京都市立芸術大学大学院陶磁器専攻を修了。京都を拠点に活動。陶磁素材の性質と作為が合致した魅力的ななかたちを探っている。



タニガワユメ | Yume Tanigawa

1999年京都生まれ。京都市立芸術大学陶磁器専攻を卒業後、京都に工房を構える。日常生活に根ざしながら、工芸としての実用性と造形的な自由さを往還する作品を制作している。

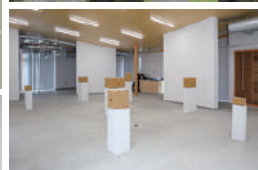




- 1=外山リョウスケ
2=工藤玲
3=タニガワユメ
4=ichimai kyoto
5=小松千倫 | 撮影:坂本 理
Photo by Yuan Shuohan, Courtesy of LEESAYA
6=山本愛子《All Things are in Flux》
7=木村歩
8=TOUMAN

1	4	6
2		7
3	5	8

Photo by Elina Giounanli



TOUMAN

京都を拠点に活動。日常の中で「つかえるかも」「かわいいかも」と
思える奇妙なかたちを、粘土を素材に制作している。



ichimai kyoto

「ichimai kyoto (イチマイキョウト)」は、京都の現代アーティストと京都で150余年の歴史を
持つ「写真化学」が共創するアートプロジェクト。卓越した彩色とマテリアル表現を、
一枚のアートプリントとして結晶させ、空間に新たな彩りと創造性をもたらす。

📍 ギャラリー 京都七条 | 京都市下京区西木屋町通七条上る新日吉町135-16

京都市立美術工芸高等学校の洋画・日本画・染織専攻2年生による展覧会。
写生や油彩、浴衣制作など学びの実践を通じて、高校生が日常の中で
見つけた「光」を作品に込めます。

洋画専攻:10月11日[土]~13日[月・祝]、17日[金]~19日[日] | 13:00-18:00

日本画専攻:10月25日[土]~26日[日]、10月31日[金]~11月3日[月・祝] | 13:00-18:00

染織専攻:11月8日[土]~9日[日]、14日[金]~16日[日] | 13:00-18:00

📍 連携イベント

「Lightseeing Kyoto South」と同時期に、周辺で開催される多数の
プログラムをご紹介します。ぜひ周遊しながら、京都駅東部・東南部エリアを
お楽しみください。

京都市立芸術大学 ギャラリー@KCUA

KYOTO EXPERIMENT 2025

ターニヤ・アル=フリー&ズィヤード・アブー・リーシュ「電力と権力を探して」 | →画像1

出展作家:ターニヤ・アル=フリー&ズィヤード・アブー・リーシュ

パフォーマンス公演:10月4日[土]~9日[木] | 展示:10月11日[土]~11月16日[日]

休館日:10月27日[月]、11月4日[火]、11月10日[月]

入場料:パフォーマンス公演=一般 ¥3,500、ユース (25歳以下)・学生 ¥3,000、高校生以下 ¥1,000

展示=無料

京都市立芸術大学

京都市立芸術大学 芸大祭2025「わたしとかけまして」 | →画像4

出展作家:学生有志 (学生による飲食・物販ブース、ステージ発表、美術作品の展示)

11月1日[土]~3日[月・祝] | 10:00-19:00 | 入場無料

TERRADA ART STUDIO 京都

「Unis in Unison —Kyoto Rising Artists Project—」 | →画像2

出展作家=大谷花、北村友海、竹田朋葉、橘葉月、西田彩乃、ニルセン・テア・ラーセン、松浦陽、

の野哲子、山淵瑞穂

11月7日[金]~16日[日] ※ただし、11月14日は招待制 | 13:00-18:00 (最終入場は17:30)

入場無料

京都市立美術工芸高等学校

出展作家:京都市立美術工芸高等学校生徒 ほか | ウィンドウ展示 | 10月4日[土]~11月16日[日]

HAPS HOUSE

Enjoy Exhibition Club #11「点展....」 | →画像5

出展作家:点命 | 10月24日[金]~11月16日[日] | 14:00-19:00 (金土日のみ)

入場無料

THEATRE E9 KYOTO

KYOTO EXPERIMENT 2025

筒井 潤「墓地の上演」 | →画像6

出展作家:筒井潤

10月9日[木]18:00/10日[金]18:00/11日[土]13:00/12日[日]18:00/13日[月・祝]15:00

一般 ¥3,000、ユース (25歳以下)・学生 ¥2,500、高校生以下 ¥1,000、ペア ¥5,500

GALLERY GARAGE

大角ユウタ 個展 | →画像3

出展作家:大角ユウタ | 10月3日[金]~14日[火] | 12:00-18:00 | 入場無料

立花光 個展 | →画像7

出展作家:立花光 | 11月8日[土]~24日[月・休] | 10:00-18:00 (月・火・水休 ※最終日を除く)

入場無料

京都駅東部・東南部エリアの電柱

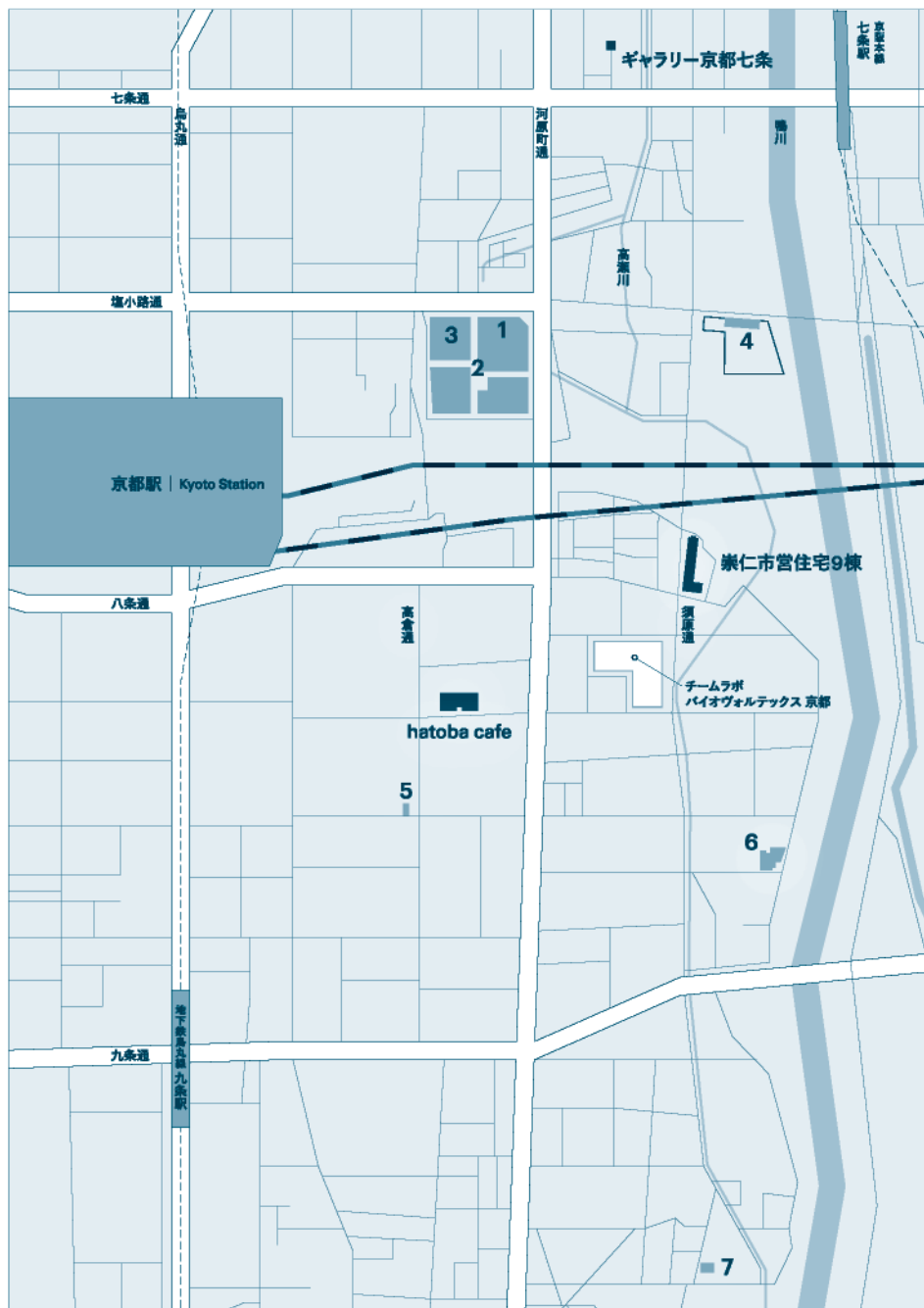
電柱アートデザインコンクール2025in京都 | →画像8

出展作家:京都市立芸術大学学生=18作品/京都市立美術工芸高等学校生徒=32作品/

京都市立下京涉成小学校児童=42作品/デザイナー=25作品

10月1日[水]~11月16日[日]

※内容に一部変更が出る場合がございます。最新情報は各イベントの公式ウェブサイトをご覧ください。



▼ hatoba cafe

10月4日[土]~11月16日[日] | 13:00~18:00 (金土日祝のみ)
入場無料 | カフェ営業時間:11:00~19:00 (金土日祝のみ)

▼ 崇仁市営住宅9棟

10月4日[土]~11月16日[日] | 13:00~18:00 (金土日祝のみ)
入場無料

▼ ギャラリー京都七条

10月11日[土]~13日[月・祝]、17日[金]~19日[日]
13:00~18:00
10月25日[土]~26日[日]、10月31日[金]~11月3日[月・祝]
13:00~18:00
11月8日[土]~9日[日]、14日[金]~16日[日] | 13:00~18:00
入場無料

▼ 連携イベント

1

京都市立芸術大学 ギャラリー @KCUA

パフォーマンス公演:10月4日[土]~9日[木] | 有料
展示:10月11日[土]~11月16日[日] | 無料
(休館日:10月27日[月]、11月4日[火]、11月10日[月])

2

京都市立芸術大学

11月1日[土]~3日[月・祝] | 10:00~19:00 | 入場無料

3

TERRADA ART STUDIO 京都

11月7日[金]~16日[日] ※ただし11月14日は招待制
13:00~18:00 (最終入場は17:30) | 入場無料

4

京都市立美術工芸高等学校

ウィンドウ展示 | 10月4日[土]~11月16日[日]

5

HAPS HOUSE

10月24日[金]~11月16日[日]
14:00~19:00 (金土日祝のみ) | 入場無料

6

THEATRE E9 KYOTO

10月9日[木]18:00 / 10日[金]18:00 / 11日[土]13:00 /
12日[日]18:00 / 13日[月・祝]15:00 | 有料

7

GALLERY GARAGE

10月3日[金]~14日[火] | 12:00~18:00 | 入場無料
11月8日[土]~24日[月・休]
10:00~18:00 (月・火・水休 ※最終日を除く) | 入場無料

京都駅東部・東南部エリアの電柱

10月1日[水]~11月16日[日]

※内容に一部変更が出る場合がございます。
最新情報は各イベントの公式サイトをご覧ください。



Instagram: @lightseeing_kyoto_south



会場マップ (Google Maps)

キュレーターのおすすめスポットもご覧いただけます。
みなさんのおすすめスポットも募集!

▼ イベント情報

会期中には、トークイベントやパフォーマンスなどのイベントを開催予定です。

小松千倫「光年」

「光と音は遠さの支持体となる」と考える小松千倫による、
土地と人を結ぶパフォーマンスを実施します。

上演者:小松千倫

日時・会場:11月1日[土]

17:30=hatoba cafe 出発→周辺地域を周遊→18:30=終了予定

参加費:無料

※悪天候の場合パフォーマンスが中止される可能性があります。
開催情報は順次公式Instagramアカウントにて公開いたします。

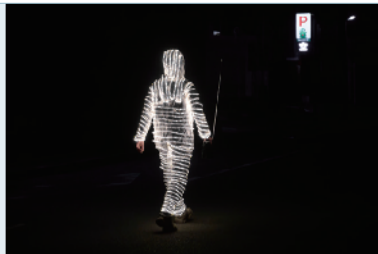


Photo by Itsuhiro Osewa

主催



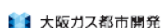
技術協賛



協賛



協力



株式会社いろいろ ギャラリー京都七条



キュレーター:大倉佑亮、渡邊賢太郎 | ローカルコミュニケーション:山田真梨子 | 広報:熊野豊
セノグラフィー:たま製作所 (小西由希、岩山夏己、木綿要介) | グラフィックデザイン:塩谷啓悟
お問い合わせ:108 Artworks (企画・運営) | info@108artworks.com

発行:令和7年9月/総合企画局プロジェクト推進室
京都市印刷物 第071150号